



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 株式会社オリエントコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 8585

URL <https://www.orico.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梅宮 真

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 藤田 智道

TEL 03-5877-1111

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	124,877	1.1	7,203	0.4	7,203	0.4	6,235	66.8
2025年3月期中間期	123,464	10.0	7,174	21.5	7,174	21.5	3,738	△63.1

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 5,325百万円 (161.9%) 2025年3月期中間期 2,033百万円 (△78.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	36.43	36.43
2025年3月期中間期	21.84	21.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,841,493	244,494	8.4
2025年3月期	2,881,698	246,559	8.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 238,085百万円 2025年3月期 239,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	1.9	12,000	△2.8	12,000	△2.8	12,000	△13.9	70.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	171,888,020株	2025年3月期	171,882,620株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	701,367株	2025年3月期	677,100株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	171,159,970株	2025年3月期中間期	171,174,507株

(注) 自己株式数には、株式給付信託(BBT-RS)及び株式給付信託(J-ESOP-RS)が保有する当社自己株式が含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

決算補足資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年11月6日(木)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明会資料については、同日開催前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。説明内容(動画、書き起こし)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	10
(表示方法の変更)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	11
(中間連結損益計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす経済への影響が懸念されております。国内外の経済政策の先行きも不透明であり、各国経済への影響や金融市場の変動等には十分注意する必要があるものと認識しております。

このような状況のなか、当社は、社会課題の解決と企業価値の向上を基本方針として、「10年後のめざす社会・めざす姿」を再定義した上で、最終年度の到達点を「オリコならではの金融モデルの確立」とする5ヵ年の中期経営計画をスタートいたしました。

2026年3月期につきましては、中期経営計画初年度の重要な期として、事業構造改革に取り組み、捻出された経営資源を成長領域に振り向けるとともに、競争優位性のある事業基盤を固めることに注力してまいります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、以下のとおりであります。

営業収益につきましては、決済・保証事業、銀行保証事業の伸長に加え、不動産売却収入の計上により、前年同期差14億円増加の1,248億円となりました。

■決済・保証事業

決済・保証事業につきましては、家賃決済保証は、単身世帯数の増加等を背景に市場は拡大傾向に加え、電子申込による利便性向上も寄与し、取扱高は前年同期差で増加しました。また、売掛金決済保証につきましても、既存加盟店の取扱高伸長に加え、株式会社みずほ銀行との連携強化により、新規提携先数が順調に拡大した結果、取扱高は前年同期差で増加しました。

■海外事業

海外事業につきまして、貸倒関係費抑制に向けた与信厳格化により、海外子会社3社合計の取扱高は、前年同期差で減少しました。引続き回収体制の強化や与信基準の厳格化による良質債権の積み上げに努めるとともに、ガバナンス体制の徹底的な強化により、安定的な成長を図ってまいります。

■カード・融資事業

カード・融資事業につきまして、カードショッピングの取扱高は大型提携先での利用が好調に推移したことにより、前年同期差で増加しました。融資残高は、新規取扱いが減少したこと等により、前年同期差で減少となりました。

■個品割賦事業

個品割賦事業につきまして、オートローンの取扱高は、株式会社オリコプロダクトファイナンスにおける取扱高の伸張を主因に前年同期差で増加しました。ショッピングクレジットの取扱高は、前年同期差で減少しました。

■銀行保証事業

銀行保証事業につきましては、地域の課題に応じた金融商品・サービスの提供に取り組んでおり、証書貸付における取扱高の順調な拡大を背景に、保証残高は前期末から増加しました。

営業費用につきましては、海外子会社における貸倒関係費は減少したものの、金利上昇による金融費用の増加を主因に前年同期差13億円増加の1,176億円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経常利益は前年同期並みの72億円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、法人税等調整額の減少により前年同期差24億円増加の62億円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産の状況につきまして、資産合計は前連結会計年度末の2兆8,816億円から402億円減少し、2兆8,414億円となりました。これは主に、有利子負債の返済等に伴う現金及び預金の減少によるものです。

負債の状況につきまして、負債合計は前連結会計年度末の2兆6,351億円から381億円減少し、2兆5,969億円となりました。これは主に、有利子負債の減少によるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末の2,465億円から20億円減少し、2,444億円となりました。これは主に、配当金の支払いにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	216,805	168,280
受取手形及び売掛金	588	451
割賦売掛金	1,373,091	1,356,781
資産流動化受益債権	715,677	732,359
リース債権及びリース投資資産	288,081	302,832
短期貸付金	55	88
その他	125,544	126,885
貸倒引当金	△135,216	△138,268
流動資産合計	2,584,626	2,549,410
固定資産		
有形固定資産	86,917	83,721
無形固定資産		
のれん	4,247	3,884
その他	83,837	81,548
無形固定資産合計	88,085	85,432
投資その他の資産	121,376	122,249
固定資産合計	296,379	291,404
繰延資産	691	678
資産合計	2,881,698	2,841,493

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,282	150,475
短期借入金	193,396	183,579
1年内償還予定の社債	40,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	400,720	401,827
1年内返済予定の債権流動化借入金	19,351	17,618
コマーシャル・ペーパー	310,700	332,800
未払法人税等	4,095	2,796
賞与引当金	4,247	3,699
役員賞与引当金	164	81
株式給付引当金	97	77
ポイント引当金	1,635	1,646
債務保証損失引当金	2,809	2,798
割賦利益繰延	68,049	63,339
その他	232,112	254,276
流動負債合計	1,445,661	1,470,016
固定負債		
社債	210,000	195,000
長期借入金	863,482	833,187
債権流動化借入金	94,334	79,367
役員退職慰労引当金	32	33
株式給付引当金	69	92
ポイント引当金	3,407	3,446
利息返還損失引当金	9,569	7,625
退職給付に係る負債	880	891
その他	7,702	7,338
固定負債合計	1,189,477	1,126,981
負債合計	2,635,138	2,596,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,075	150,079
資本剰余金	932	936
利益剰余金	79,912	78,753
自己株式	△794	△789
株主資本合計	230,126	228,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469	855
繰延ヘッジ損益	△553	△209
為替換算調整勘定	1,083	674
退職給付に係る調整累計額	8,202	7,784
その他の包括利益累計額合計	9,201	9,105
新株予約権	7	—
非支配株主持分	7,223	6,409
純資産合計	246,559	244,494
負債純資産合計	2,881,698	2,841,493

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益		
事業収益	114,393	114,585
金融収益	752	751
その他の営業収益	8,317	9,540
営業収益合計	123,464	124,877
営業費用		
販売費及び一般管理費	103,484	101,136
金融費用	10,171	12,217
その他の営業費用	2,633	4,320
営業費用合計	116,289	117,673
営業利益	7,174	7,203
経常利益	7,174	7,203
特別利益		
投資有価証券売却益	1,642	—
特別利益合計	1,642	—
特別損失		
有形固定資産除却損	—	34
ソフトウェア除却損	—	29
投資有価証券売却損	1	—
組織再編関連費用	137	—
特別損失合計	138	63
税金等調整前中間純利益	8,678	7,139
法人税、住民税及び事業税	2,903	1,990
法人税等調整額	2,484	△414
法人税等合計	5,387	1,575
中間純利益	3,290	5,564
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△447	△671
親会社株主に帰属する中間純利益	3,738	6,235

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
中間純利益	3,290	5,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659	385
繰延ヘッジ損益	△192	344
為替換算調整勘定	103	△549
退職給付に係る調整額	△508	△420
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,257	△238
中間包括利益	2,033	5,325
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,319	6,139
非支配株主に係る中間包括利益	△286	△814

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	決済・ 保証	海外	カード・ 融資	個品割賦	銀行保証	計		
営業収益								
顧客との契約から生じる収益	2,579	—	20,583	2,487	35	25,685	1,331	27,016
その他の収益	9,328	7,549	15,090	35,180	17,468	84,617	2,759	87,377
外部顧客に対する営業収益	11,908	7,549	35,673	37,668	17,503	110,302	4,090	114,393
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	1	—	1	3,329	3,331
計	11,908	7,549	35,673	37,669	17,503	110,304	7,420	117,725
セグメント利益又は損失(△)	5,426	△2,824	29,823	18,322	9,967	60,715	1,908	62,623

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス等以外の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	60,715
「その他」の区分の利益	1,908
全社費用等(注)	△52,585
その他	△2,863
中間連結損益計算書の営業利益	7,174

(注) 全社費用等の主なものは、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を除く販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「個品割賦事業」セグメントにおいて、2024年3月25日(みなし取得日 2024年2月29日)に行われた株式会社オリコプロダクトファイナンスとの企業結合について、前中間連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、のれんが暫定的に算出された401百万円から822百万円に変動しております。また、条件付取得対価の確定により、のれんが463百万円減少しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	決済・ 保証	海外	カード・ 融資	個品割賦	銀行保証	計		
営業収益								
顧客との契約から生じる収益	2,877	—	21,204	3,273	79	27,434	1,535	28,969
その他の収益	9,677	6,572	13,818	34,603	18,470	83,142	2,473	85,615
外部顧客に対する営業収益	12,554	6,572	35,023	37,876	18,550	110,576	4,008	114,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	1	—	2	4,017	4,019
計	12,554	6,572	35,023	37,878	18,550	110,579	8,026	118,605
セグメント利益又は損失(△)	5,605	△1,576	28,949	18,293	10,353	61,624	1,610	63,235

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス等々の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	61,624
「その他」の区分の利益	1,610
全社費用等 (注)	△52,672
その他	△3,359
中間連結損益計算書の営業利益	7,203

(注) 全社費用等の主なものは、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を除く販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が2月末日であった株式会社オリコプロダクトファイナンスについては同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、当中間連結会計期間より、決算日を3月末日に変更しております。

この変更により、当中間連結会計期間は2025年4月1日から2025年9月30日までの6ヶ月間を連結しております。なお、当該子会社の2025年3月1日から2025年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において「流動負債」及び「固定負債」に表示しておりました「役員株式給付引当金」は、新たに当社の一部従業員向け報酬制度として株式給付信託「J-ESOP-RS」を導入したため、当中間連結会計期間よりそれぞれ「株式給付引当金」に科目名を変更しております。この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の科目名を変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示しておりました「役員株式給付引当金」97百万円及び「固定負債」に表示しておりました「役員株式給付引当金」69百万円は、それぞれ「株式給付引当金」として組み替えております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

①営業上の保証債務

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
提携金融機関による顧客に 対する融資等への保証	2,247,452百万円	2,272,263百万円

②他の会社の金融機関からの借入債務に対し、次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
PT Honest Financial Technologies	1,872百万円	5,871百万円

(中間連結損益計算書に関する注記)

事業収益

事業収益には割賦売掛金等の流動化による収益が次のとおり含まれております。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
決済・保証	－百万円	44百万円
カード・融資	14,068	14,677
個品割賦	21,813	21,914
その他	△4	△1
合計	35,877	36,634